

NEWS LETTER

2022年3月15日 **No.221**

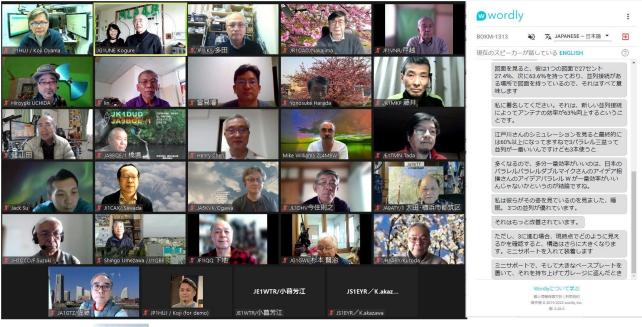
141Members 113(JA), 28(DX)

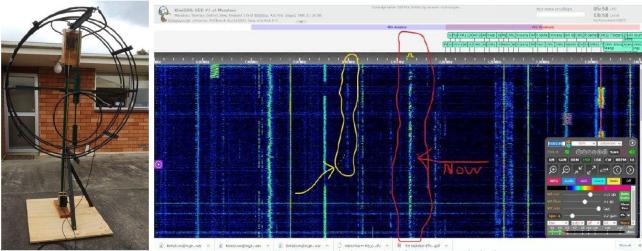


MLA48 プロジェクト

① 3月度ミーティング(MLA48 通算第178回)

3月13日(日), MLA48プロジェクトオンラインミーティングを開催. 初めての試みとして, Zoomと共に, JP1HUJ 大山さんのご提案で実現した「多言語同時AI翻訳Wordly」を使いました. 海外からはZL4MBW, W2/JR1AQN, また BX6ABC, BX6ACMをはじめ, 台湾支部の各局が参加されました.





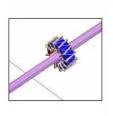
左側(黄色):2回巻き 右側(赤色):2回巻き並列

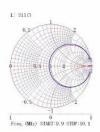
キホン編 (Basic Session) は **ZL4MBW Mike さん**"40m Parallel Dbl MLA"の発表で, **JA5KVK/1 小川さん** がシミュレーション結果を解説され, **私 (JG1UNE)** もサポートしました. 直径 1.42m 2 回巻きの 7mHz MLA を 2 つ並列に接続すると, シミュレーションの結果では太さを 2 倍にした場合に近い放射効率の向上が得られ FB! 900km 北の Web SDR で受信したところ, 大幅な改善が得られています (上図).

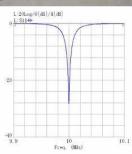


Arduino Nano リレードライブ コントローラー

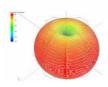












--- Far field analysis ---VSWR=1.08051 Direction : th=95,phi=95 Gd=1.89452[dBi] Ga=-4.80915[dBi] Efficiency=21.3615[%] Axis ratio= 1: 0.0822206

続いて JFIIQO 下地さんは「本棚に設置した MLA 続編」で、給電部のコアタップは発注したプリント基板に実装されました。 リモートで切り替えるモジュールは送信時に誤動作するので対応中とのこと、今回は二重ループの中点にコア給電して良い結果が得られています。

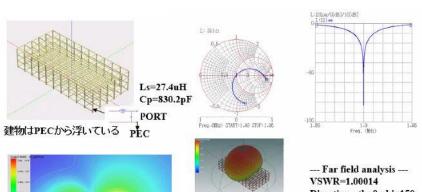
休憩後の**フシギ編(Wonder Session)**は、 **JI1CAX 澤田さん**が<u>WLOOP-MLAリアル</u> <u>版の速報</u>". 写真の環境で接地してQSOした ところ、昨年の<u>クローゼットMLA</u>に比べ、 7MHz FT8 SNRが大幅に改善されています.

Black:7MHz Feeding Loop Gray:28MHz



フリー編(Free Session) は、BX6ABC Henry さんの

「160m MLA の実験」で,<u>JA5KVK/1 小川さん</u>から鉄骨ドライブの<u>シミュレーション</u>結果も解説して



Etotal

Εθ

VSWR=1.00014 Direction: th=0,phi=150 Gd=9.07279[dBi] Ga=7.24948[dBi] Efficiency=65.7156[%] Axis ratio=1: 0.000550375

いただきました. 建物に直接給電したモデルは66%の放射効率(潜在能力?)が得られています.

JG1CCL 内田さんからは、 HHE-122 Butterfly Capacitor / Combination Project の計画が発表され、MLA48 メンバーに向けて、FB なキット化の構想が進んでいます.CCL 方式は再現性・汎用部品・安価を方針とした独自のアイデアで、モーター制御の分解能をアップしています.



また、JR10AO 中島さんからは「コンビネーションバリコンのその後」が報告され、モーター駆動機構が完成. PAT 用のピックアップ部分のアイデアもご披露されました(写真左).

AI 翻訳 Wordly は、長くしゃべらず、 1,2 秒間を置くと、誤訳が減るようです. 英語 → 日本語は何とか判ります.次回 も試したいですね. **DE JG1UNE** (「)

